53－15

6.6.-3

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　６年　６月　３日

豊　田　市　長　殿

提出者
住　所　兵庫県神戸市脇浜町三丁目６番９号
氏　名　住友ゴム工業株式会社
代表取締役社長　　山本　悟
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　　078-265-3000

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	住友ゴム工業株式会社　名古屋工場
事業場の所在地	豊田市新生町４丁目１番地
計画期間	令和　６年　４月　１日～令和　７年　３月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	１９．ゴム製品製造業
②事業の規模	５，０８４，７５０万円
③従業員数	１，３７６人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙　No.1

（日本産業規格　A列４番）

（第２面）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
（管理体制図） 別紙　No. 2			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①　現状	【前年度（令和　５年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	その他
	排　　出　　量	２，８０８ｔ	２５６ｔ
	（これまでに実施した取組） 構内起因スクラップ減少活動 廃棄物有価化推進		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	その他
	排　　出　　量	２，７８０ｔ	２５３ｔ
	（今後実施する予定の取組） スクラップ減少活動継続 廃棄物有価化推進継続 消耗品ライフ向上活動		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 物品を新・旧併せて回収し処理を委託している。		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 物品を新・旧に分けて新品或いはそれに近い物の有価化を推進する。		

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和　５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃プラスチック類</td><td>その他</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>１，４３１ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃プラスチック類</td><td>その他</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>１，４１７ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
材料スクラップ削減活動継続
材料作成精度向上活動</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和　５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃プラスチック類</td><td>その他</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>１，１３２ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>３６４ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
廃タイヤボイラーの定期メンテナンス等による
安定した稼働
燃焼効率向上のため、投入方法の工夫
材料スクラップ削減活動</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃プラスチック類</td><td>その他</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>１，１２１ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>３６０ｔ</td><td>０ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
材料スクラップ削減活動継続
焼却残渣軽量化
燃焼効率向上</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和　５年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	なし	なし
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	なし	なし
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和　５年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙	別紙
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組）		

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙</td><td>別紙</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

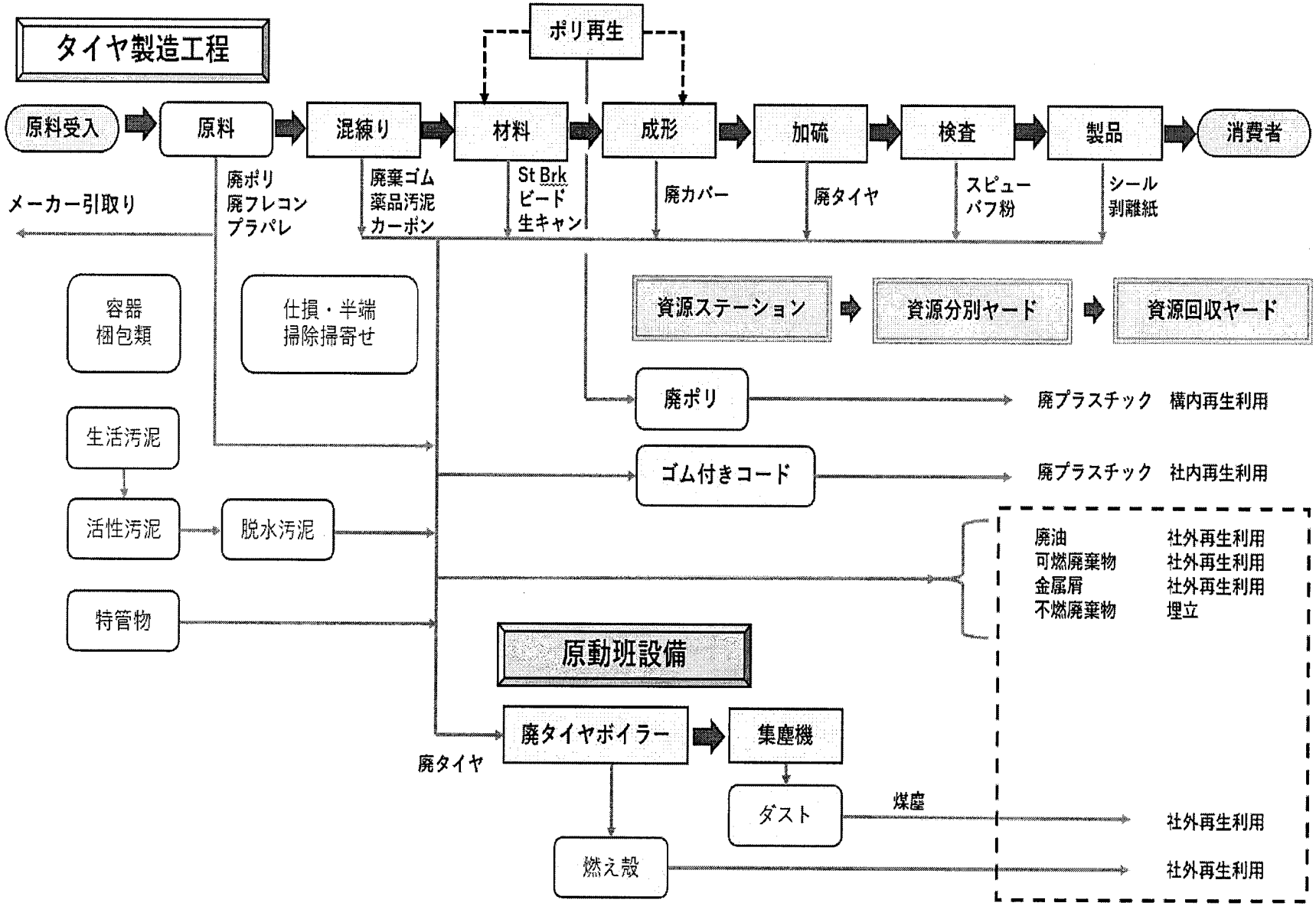
4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

住友ゴム工業㈱名古屋工場　産業廃棄物発生フロー図



別紙　No.1

責任者及び管理組織図

統括責任者		所属、役職、氏名　：　名古屋工場長　　端山 伸介
廃棄物担当		組織名、役職、氏名：　安全環境衛生課　主査　清水 隆浩 組織人員　：　９名
役割	（名）サスティナビリティ委員会（廃棄物削減）	○　委員会の活動項目の一部として廃棄物削減を掲げ環境に関するすべてについてコミュニケーションの確保と活動状況のフォローを行い、環境の継続的改善を図る。 ・委員長：工場長　　・委員：各課長 ・事務局局長：EMS 責任者　　・事務局員：局長の指名担当者 ○　開催　　１回／３か月　以上
	廃棄物処理統括責任者	○　環境方針の制定 ○　EMS 責任者の任命 ○　環境に係わる体制と責任 ○　公害防止統括者 ○　中期環境行動計画の承認 ○　内部環境監査の計画及び結果の承認 ＊　環境方針の公表
	環境管理担当課長	○　廃棄物処理計画の作成 ○　廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○　産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○　処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○　委託契約の締結 ○　産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理票の交付・管理 ○　監督官庁への各種報告 ○　社員、関連会社に対する教育・啓蒙 ○　その他に関する事項

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

（第4面の別紙）

①現状

【前年度 （ 令和5 ）年度 実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類 廃タイヤ	廃プラスチック類 ゴム付きコード	廃プラスチック類 ゴム類	廃プラスチック類 廃ポリ屑	廃プラスチック類 ポリフィルム	紙くず・木くず 紙くず・木くず
全処理委託量	539 t	107 t	130 t	39 t	0 t	21 t
優良認定業者への処理委託量	539 t	34 t	1 t	0 t	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	73 t	129 t	39 t	0 t	21 t
認定熱回収業者業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

仕損減少活動　有価化推進

＊事務処理欄

①現状

【前年度 （ 令和5 ）年度 実績】

産業廃棄物の種類	金属くず 金属くず	汚泥 生活汚泥	汚泥 薬品汚泥	ガラスくず OA機器・蛍光管	廃油 廃油	
全処理委託量	26 t	12 t	74 t	17 t	106 t	t
優良認定業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
再生利用業者への処理委託量	26 t	12 t	74 t	17 t	106 t	t
認定熱回収業者業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

（これまでに実施した取組）

仕損減少活動　有価化推進

＊事務処理欄

様式第二号の八（第8条の四の五関係）の添付に使用

廃プラ 全処理委	815
その他 全処理委	256
合計	1,071

廃プラスチック類 全処理委託	815
廃プラスチック類 優良認定者委託	574
廃プラスチック類 再生利用者委託	241
廃プラスチック類 熱回収業者委託	0
廃プラスチック類 熱回収業者以外委託	0

その他 全処理委託	256
その他 優良認定者委託	0
その他 再生利用者委託	256
その他 熱回収業者委託	0
その他 熱回収業者以外委託	0

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

（第5面の別紙）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類 廃タイヤ	廃プラスチック類 ゴム付きコード	廃プラスチック類 ゴム類	廃プラスチック類 廃ポリ屑	廃プラスチック類 ポリフィルム	紙くず・木くず 紙くず・木くず
全処理委託量	534 t	106 t	129 t	39 t	0 t	21 t
優良認定業者への処理委託量	534 t	33 t	1 t	0 t	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	72 t	128 t	39 t	0 t	21 t
認定熱回収業者業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

仕損減少活動、有価化推進

＊事務処理欄

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	金属くず 金属くず	汚泥 生活汚泥	汚泥 薬品汚泥	ガラス屑 OA機器・蛍光管	廃油 廃油	
全処理委託量	26 t	12 t	73 t	17 t	105 t	0 t
優良認定業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	26 t	12 t	73 t	17 t	105 t	0 t
認定熱回収業者業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

仕損減少活動、有価化推進

＊事務処理欄

様式第二号の八（第8条の四の五関係）の添付に使用

廃プラ 全処理委	808
その他 全処理委	254
合計	1,062

廃プラスチック類 全処理委託	808
廃プラスチック類 優良認定者委託	568
廃プラスチック類 再生利用者委託	239
廃プラスチック類 熱回収業者委託	0
廃プラスチック類 熱回収業者以外委託	0

その他 全処理委託	254
その他 優良認定者委託	0
その他 再生利用者委託	254
その他 熱回収業者委託	0
その他 熱回収業者以外委託	0